



IXIL 顔認証システム(ハンドル一体型) 取付け説明書

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

電気工事は、電気工事士法に基づき有資格者が行ってください。

▲警告 …取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。

▲警告



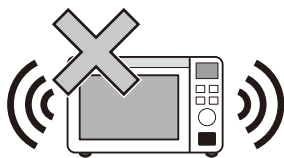
●操作電源盤などAC100Vを直接接続する機器の取付けは、ブレーカー(AC100V)を切った状態で行ってください。感電のおそれがあります。

機器設置上のごお願い

- 故障の原因になるため、以下の場所は避けてください。
 - ・水や直接湯気がかかる場所、湿気の多い場所、水や直接湯気がかかる場所、湿気の多い場所
 - ・防犯性を確保するため、ガラス窓から近い場所には設置しないでください。



- ・他の電波式機器から2m以内のところ。
- ・電子レンジなどの電波的なノイズを出す電化製品から2m以内のところ。
- ・玄関ドアが電波を通しにくい壁や金属物で囲まれているところ。
- ・本製品の使用環境温度範囲は-10℃～50℃、使用周囲湿度範囲は30%～90%RHです。温度が上昇するところ(直射日光・直接暖房が当たるところ・ボイラーの近くなど)や-10℃よりも温度が低くなる場合があるところ、通気性が悪く湿気の多いところには使用しないでください。また、寒冷地では、風除室を設置してご使用をおすすめします。



*Clavis、クラビスおよびClavisロゴは株式会社シブタニの商標または登録商標です。

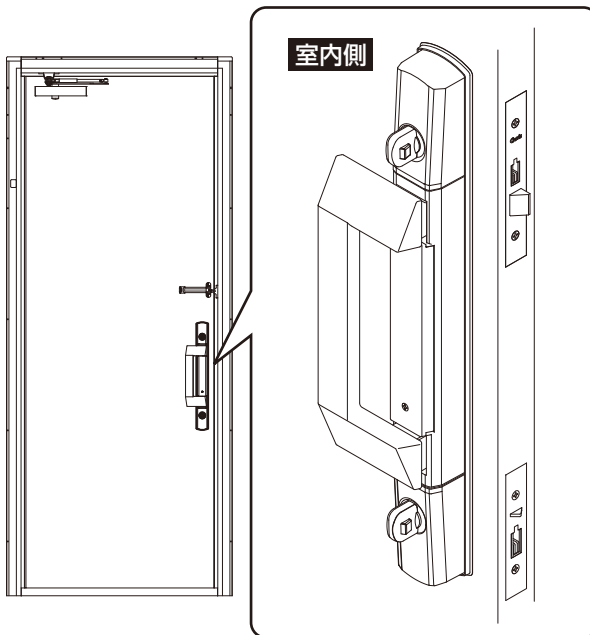
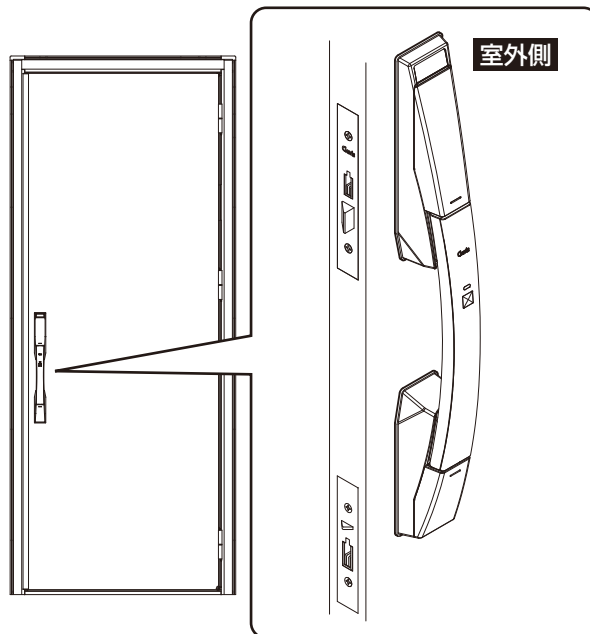
*Tebra、テブラおよびTebraロゴは株式会社シブタニの商標または登録商標です。

取付方法動画

こちらの2次元コードから取付方法の動画を確認できます。



●取付け完成図














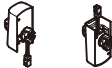







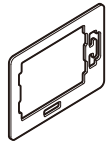
※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	配線は指定通りにカチッと鳴るまで接続されていますか？	<input type="checkbox"/>
2	コードに無理な力をかけていませんか？(引っ張らない・折り曲げない)	<input type="checkbox"/>
3	室内ハンドル側のゴム材が挟み込まれていませんか？	<input type="checkbox"/>
4	配電盤とのペアリング・作動確認をしましたか？	<input type="checkbox"/>

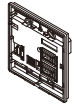


■部品・部材の明細

※取付け前に必ず梱包内容をご確認ください。





室外側ハンドル		
ハンドル本体(室外側)		1
シリンダーカバー 上		1
シリンダーカバー 下		1
室内側ハンドル		
ハンドル本体(室内側)		1
主錠ケース		
主錠ケース		1
フロントプレート(上)		1
閉扉信号付補助錠ケース		
閉扉信号付補助錠ケース		1
フロントプレート(下)		1
シリンダー・キー		
シリンダー		2
Tebraキー		2
TLキー		3
コンストラクションキー(工事専用) 本製品には、コンストラクション装置が組込まれています。施工の際は、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。施工後、お施主さま専用キーを使用するとコンストラクション装置が解除され、以後はお施主さま専用キーでなければ開閉できません。※本製品は上下コンストラクションキー仕様となります。		3
ユーザーカード		1
サムターンユニット		
サムターンユニット		2
説明書		
取扱い説明書		1
取付け説明書		1

給電用部品		
躯体内配線(10m) ※同梱の配線は10mで、継ぎ足す延長はできません。不足の場合は、15m、20mの配線を別途手配してください。		1
ACアダプター		1
抜け止めコンセント		1
ブラケット		1

■別途手配品

操作電源盤セット		
操作電源盤本体		1
操作電源盤カバー		1
枠側通電金具 枠側通電金具は“枠セット”に同梱。		1

■取付け用ねじ明細

部品名称		入数
ハンドル取付けねじ(M5×25)		4
主錠/閉扉信号付補助錠ケース取付けねじ(M4×14)		4
フロントプレート取付けねじ(M4×14)		4
シリンダー/サムターン取付けピン		8

■作業工程

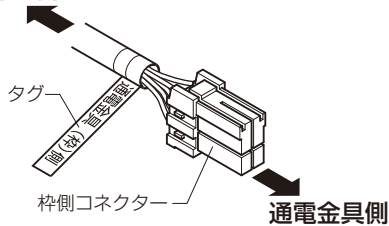
工程	参照ページ	詳細	
1 通電金具の取付け	P.4		
2 通電金具の接続	P.5		
3 錠ケースの取付け	P.6		
4 シリンダー上下の取付け	P.7		
5 室内外ハンドルの仮止め	P.7		
6 配線接続	P.8		
7 室内外ハンドルの取付け	P.8		
8 サムターンユニットの取付け	P.9		
9 フロントプレート・ハンドルカバーの取付け	P.9		
10 シリンダーカバーの取付け	P.10		
11 操作電源盤の取付け	P.10		操作電源盤セットの取付け説明書を参照
12 操作電源盤との接続	P.11		
13 ペアリングの事前確認	P.11		
14 ペアリング作業	P.12	電気工事士区分	
15 7セグ表示一覧	P.13		
16 作動確認	P.14		
17 認証キーの抹消方法	P.15		

II 通電金具の取付け

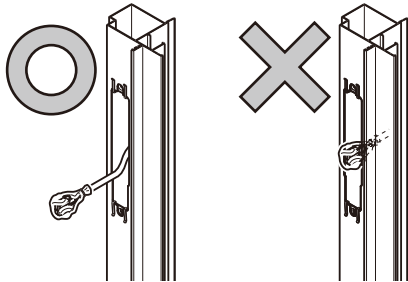
通電金具の取付け上のお願ひ

- 電動ドライバーは使用しないでください。高トルクのため、部品が破損し不具合につながる原因になります。
- ※躯体内配線コードは必ず組立て前に枠内に通してください。
- ※ハンドルセットに躯体内配線コード(10m)が同梱されています。長さが足りない場合は、別途有償品の躯体内配線コード(15m、20m)を手配してください。初期同梱の10m配線からの継ぎ足し延長はできません。
- 躯体内配線コードは、コネクタ形状の違いにより、向きがあります。枠内に通す前に必ず、タグの表示内容とコネクタ形状を確認し、躯体内配線コードの向きが正しいことを確認してください。

操作電源盤側

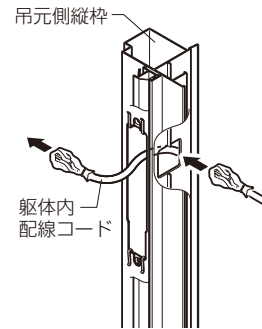


- 躯体内配線コードの枠側コネクタは切欠き穴から確実に引き出してください。

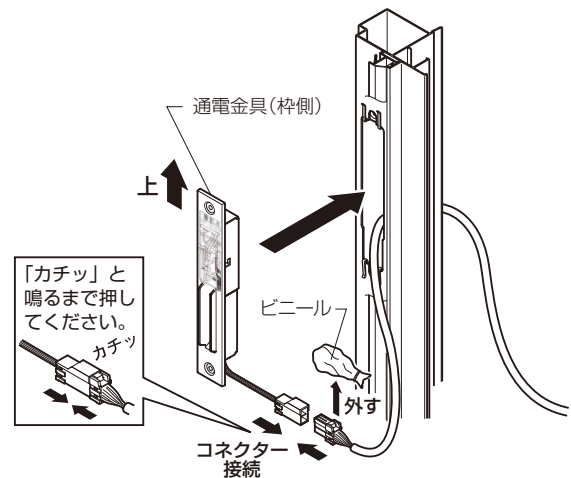


- 躯体内配線コードを通した後は、枠にキズをつけないようにテープなどでコネクタを固定してください。
- 躯体内配線コードのはさみ込みによる破損・断線などのないようにしてください。
- ドア枠内の配線コードにはテンションがかからないようにしてください。接触不良により不具合の原因やメンテナンス時に部品の交換ができなくなります。通電金具(枠側)のシールはコネクタ接続時まで剥がさないでください。

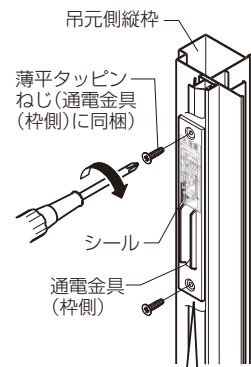
- ①躯体内配線コードを吊元側縦枠に通してください。



- ②コネクタを通電金具(枠側)に接続します。

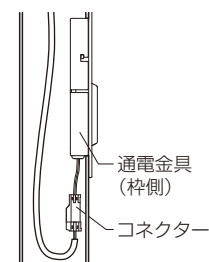


- ③通電金具(枠側)を枠に取付けてください。



※図のように配線、コネクタをドア枠内に収めてください。

●断面図

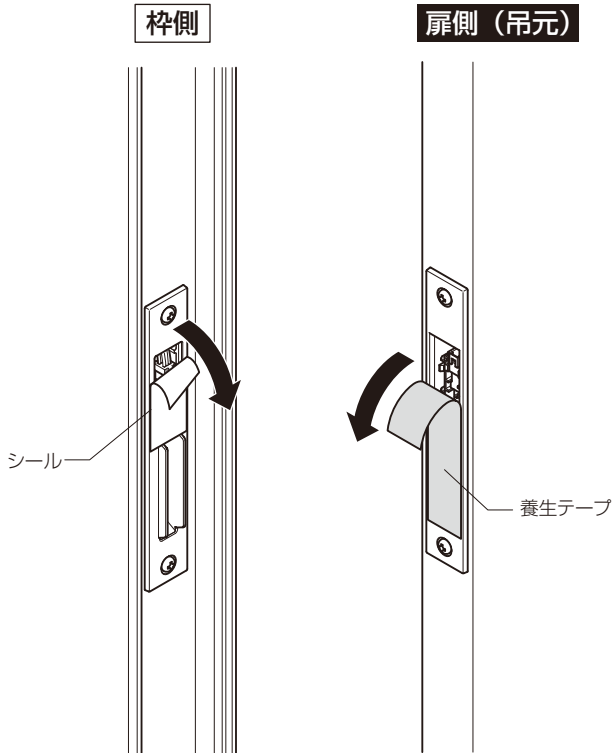


2 通電金具の接続

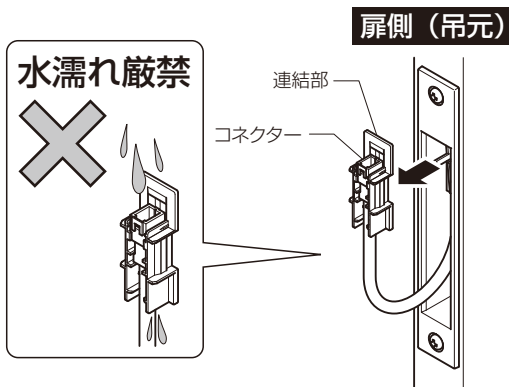
通電金具の接続上のお願ひ

- この作業は、扉を吊った後、扉を開けた状態で行ってください。
- 作業が終わるまでは扉を閉めないでください。
また、吊元側の作業ですので、扉が閉まり指を挟まれないよう十分ご注意ください。

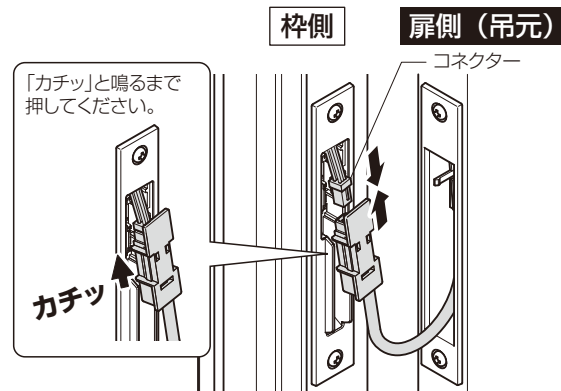
① 枠側のシールと扉側の養生テープを剥がします。



② 扉側からコネクタ(連結部)を取り出します。



③ 扉側から取り出したコネクタを枠側のコネクタに接続してください。



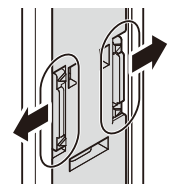
※コネクタが濡れたまま接続しないでください。接触不良の原因になります。

④ 連結部を枠側の通電金具にはめ込みます。



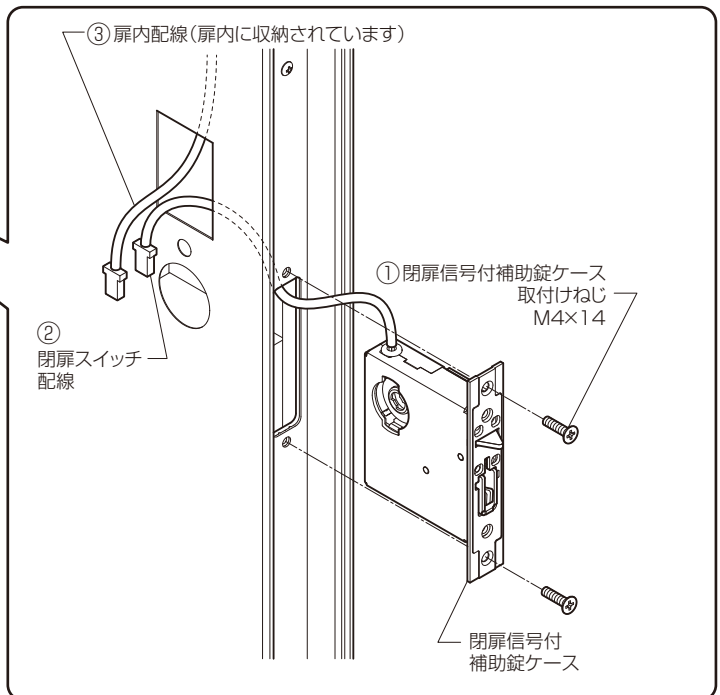
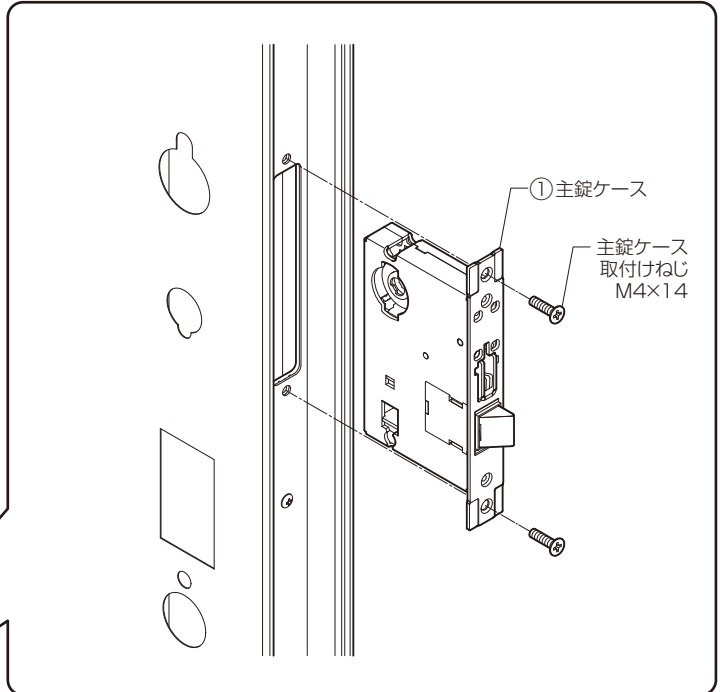
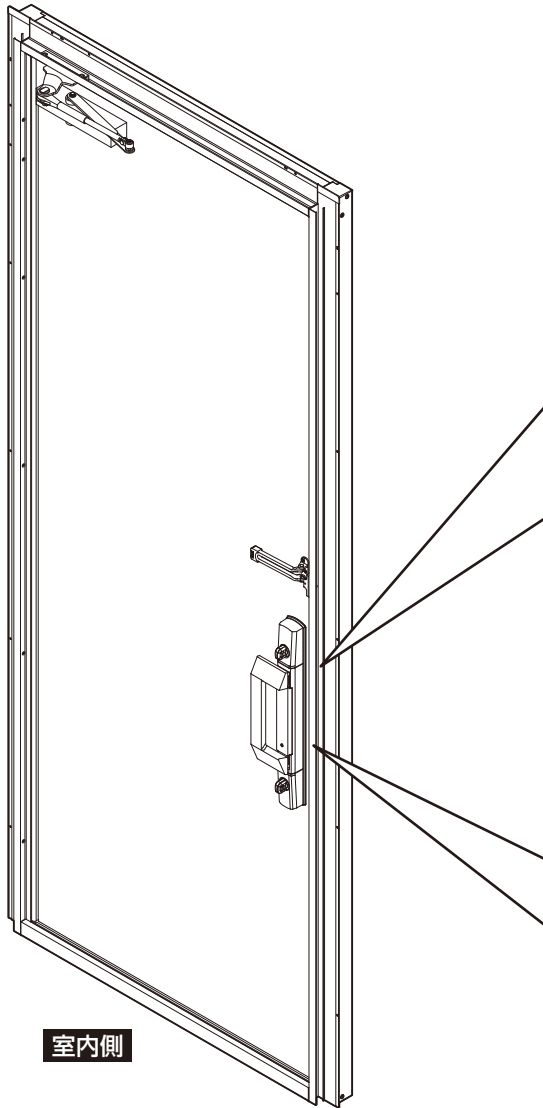
■メンテナンス時の対応[通電金具連結部の外し方]

○部のツメを左右(↔)に広げると連結部が浮き上がって外れます。



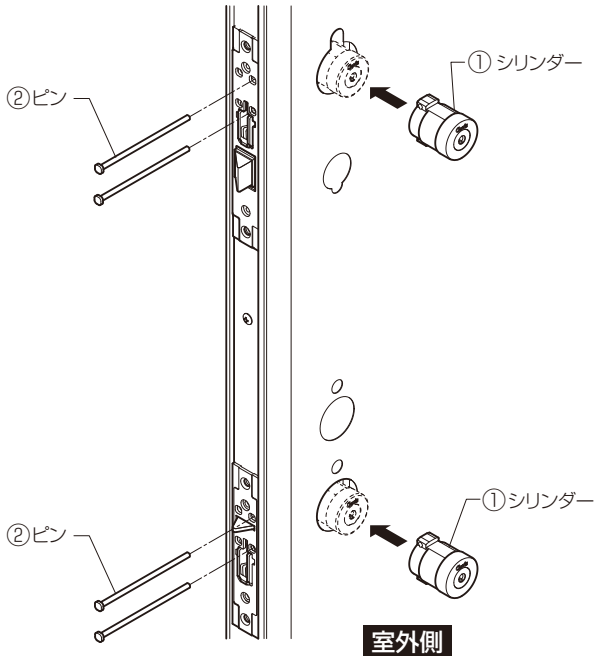
3 錠ケースの取付け

- ①主錠ケース・補助錠ケースをドアの戸先にねじで固定します。
- ②閉扉スイッチ配線を室内側の角穴から出します。
- ③扉内配線コードを室内側の角穴から出します。



4 シリンダー上下の取付け

- ① 室外側上部・下部のシリンダー取付け穴にClavisマークを上に向けてシリンダーを差し込みます。
- ② 2本のピンを抜け止めピン穴から差し込み、シリンダーを固定します。

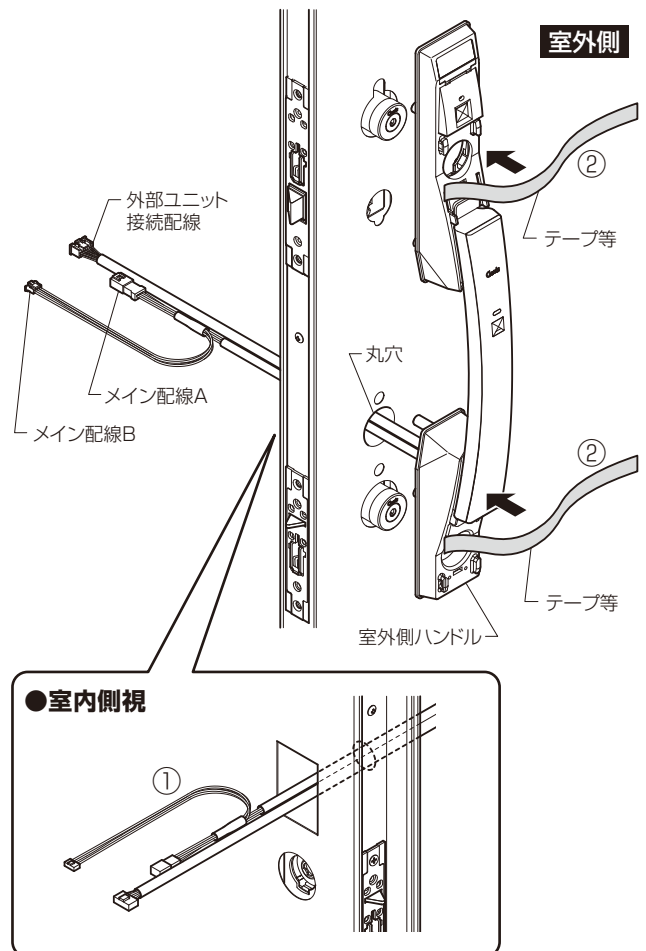


5 室内外ハンドルの仮止め

ハンドル仮止め上のお願

- ハンドルはテープで確実に固定してください。(室内側から作業するため)落下・破損の原因となります。

- ① 室外側ハンドルから出ている3本の配線を丸穴から室内側に通します。
- ② 室外側ハンドルをのり残りのないテープ等で仮止めします。

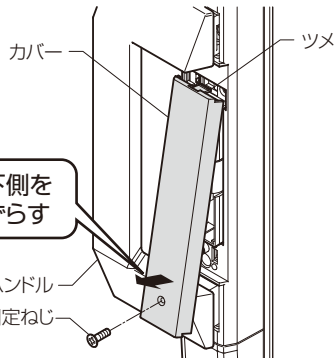


6 配線接続

- ①室内側ハンドルのカバー固定ねじをゆるめ、外します。
 - ②室内側に出ている4本の配線を、それぞれのコネクターへ接続します。
- ※コネクターはそれぞれ形状が異なります。
- ③配線引っ掛け個所に、すべての配線を掛けます。

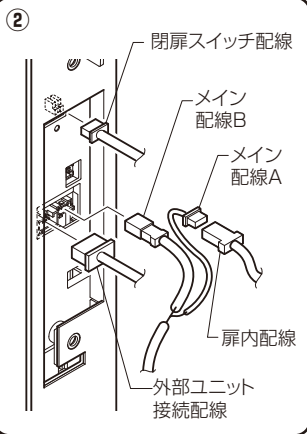
①室内側ハンドルのカバーの取外し

あらかじめ室内側ハンドルのカバーを外しておきます。
※カバーはねじで固定されています。

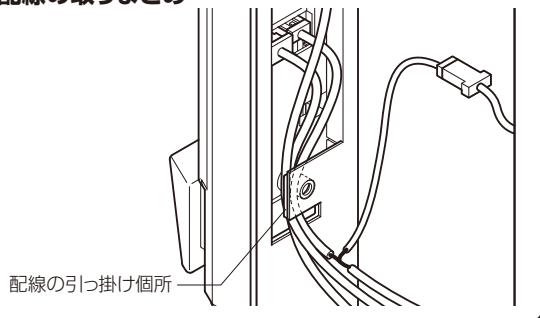


室外側

配線収納部



③配線の取りまとめ



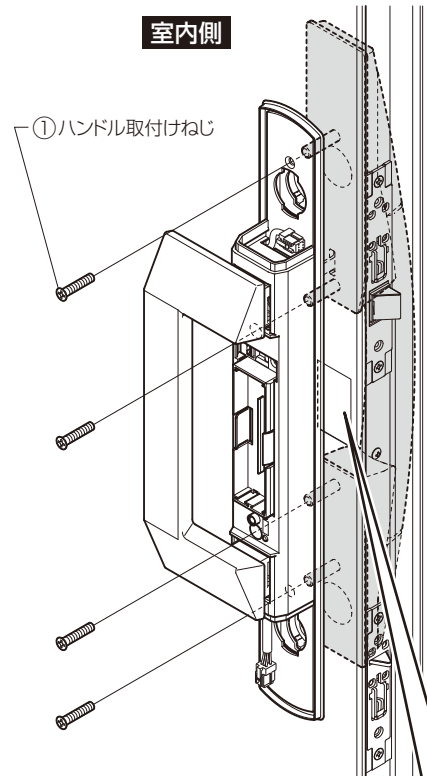
7 室内外ハンドルの取付け

ハンドル取付け上のお願

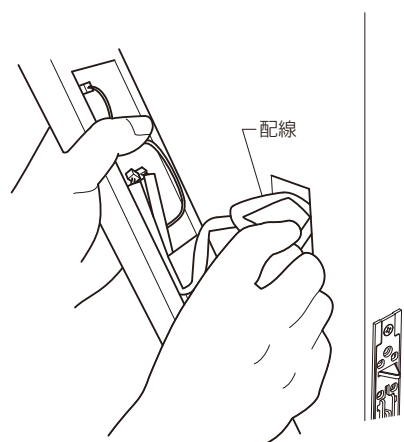
- 部品が破損するため、電動ドライバーは使用しないでください。
- 配線コードが破損・断線するため、取付けの際にはさみ込まないでください。
- 不具合の原因となるため、配線コードにテンションをかけないでください。

- ①配線を角穴へ収納しながら、ハンドル位置を調整して穴位置を合わせ、室内外のハンドルをねじで固定します。

室内側



①配線の角穴内への収納

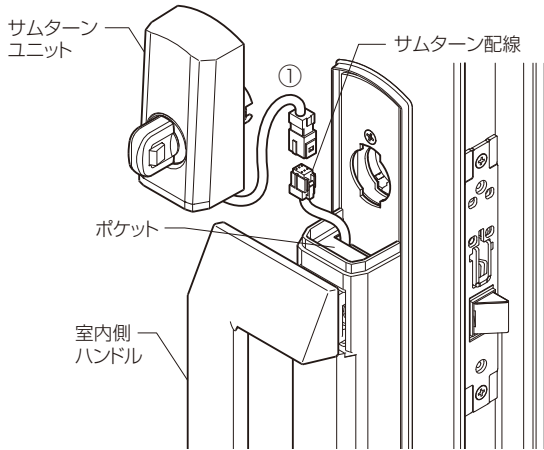


8 サムターンユニットの取付け

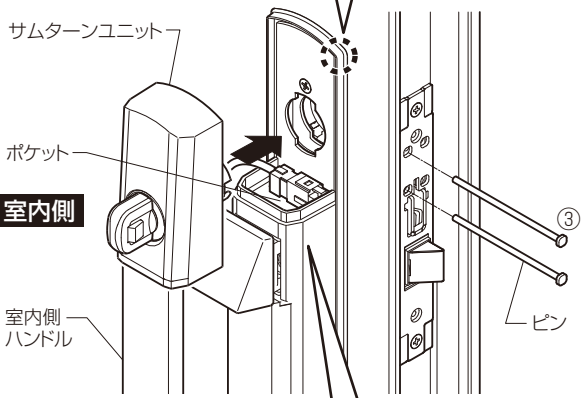
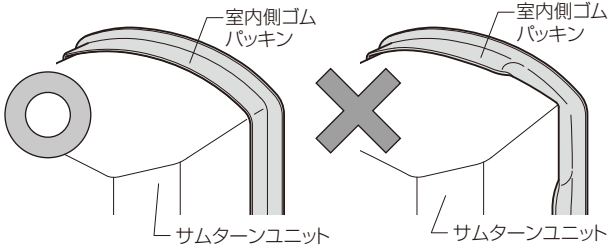
サムターンユニット取付け上のお願ひ

●室内側ハンドルのゴム材を挟み込まないようにしてください。止水性が低下します。(漏水に繋がります)

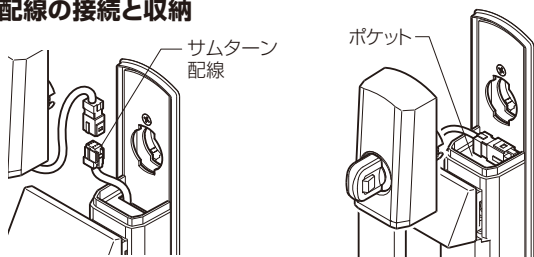
- ①室内側上部・下部のサムターンユニットをサムターン配線と接続します。
- ②余った配線をポケットに収納しながらサムターンユニットをあてがいます。
- ③2本のピンを戸先側から差し込み固定します。



※止水性確保のため、サムターンユニット取付け時、室内側ゴムパッキンをかみ込ませないでください。



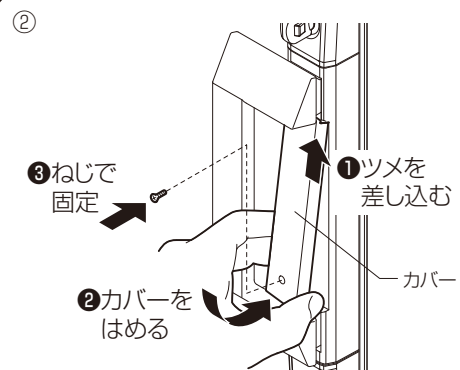
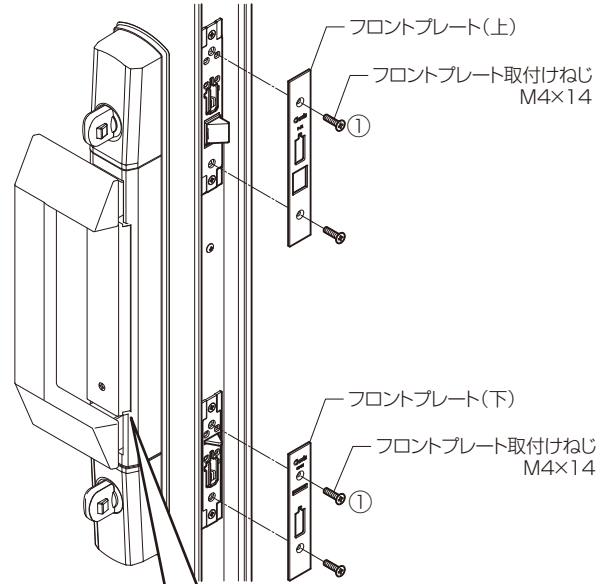
①②配線の接続と収納



9 フロントプレート・ハンドルカバーの取付け

- ①上部・下部のフロントプレートをねじで固定します。
- ②外しておいた室内側ハンドルのカバーを元に戻し、ねじで固定します。
- ③室外側ハンドルに貼り付けた仮固定用テープ等を剥がします。

以上でハンドルの取付け作業は終了です。

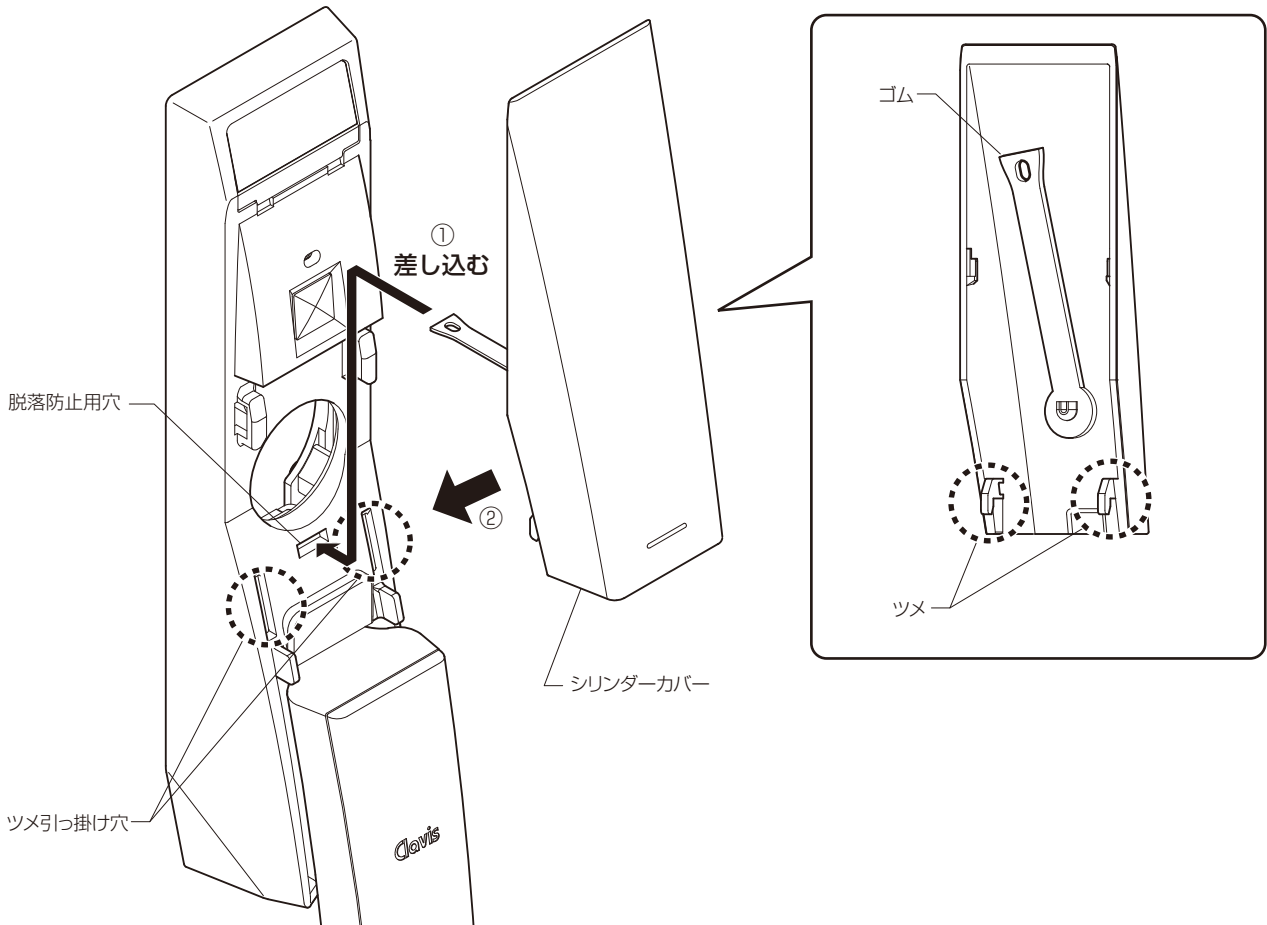


⑩ シリンダーカバーの取付け

シリンダーカバー上／下を室外側ハンドルに取付けます。

※必ずお施主さまへ引渡しする際に取付けてください。

- ①シリンダーカバーの脱落を防ぐため、シリンダーカバーから伸びているゴムを室外側ハンドルの脱落防止用穴に差し込んでください。
- ②室外側ハンドルのツメ引っ掛け穴にシリンダーカバーのツメを引っ掛けながら取付けしてください。
- ③下側も同様に取付けしてください。



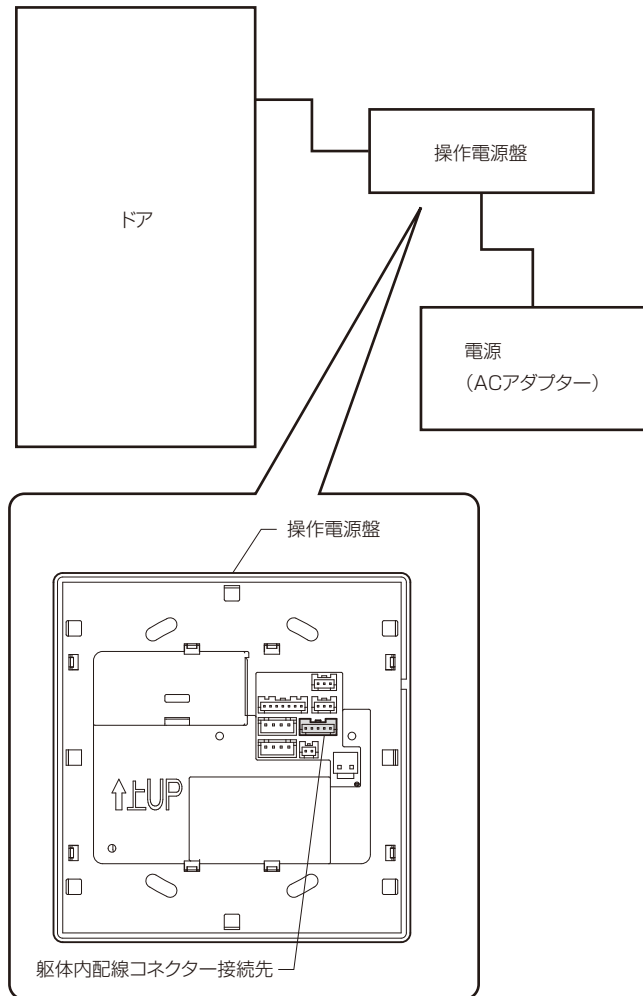
⑪ 操作電源盤の取付け

操作電源盤セットの取付け説明書を参照ください。

12 操作電源盤との接続

※操作電源盤とのペアリングには、別途操作電源盤の取付けが必要です。**11**の作業を必ず先に行ってください。

- ①接続作業は、必ず操作電源盤の取付けを完了させた上で作業してください。(別紙「操作電源盤取付け説明書」を参照ください。)
- ②操作電源盤へ駆体内配線のコネクタを接続します。



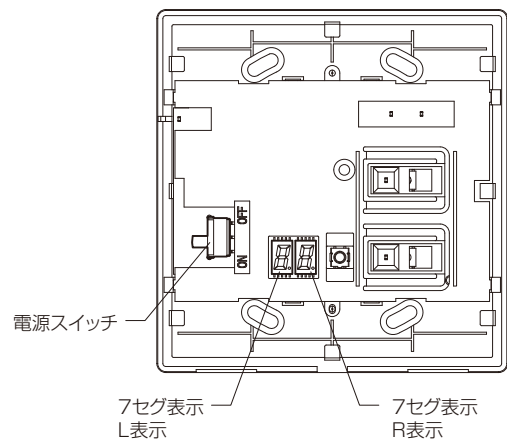
13 ペアリングの事前確認

■ペアリングとは

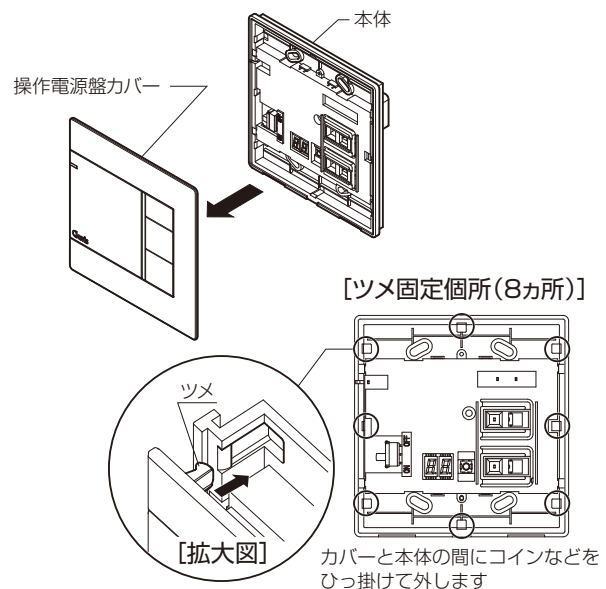
顔認証システム(ハンドル一体型)の通信ライン上に不正な機器が接続された際の“なりすまし”による解錠操作に対する防御策として、ペアリング操作をおこないます。ペアリング操作によって通信できる機器を限定させることで、不正接続機器からの施解錠操作や設定変更などを受け付けません。

■ペアリング状態の確認

本作業では室内外ハンドル、操作電源盤のペアリング状態の確認を行います。ペアリングされている機器の接続状態は、電気錠起動後に、操作電源盤の7セグ表示で確認することが可能です。



■起動時のペアリング接続確認方法



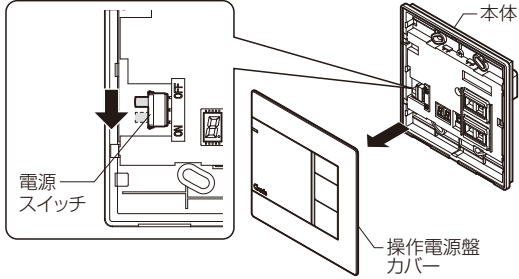
- ①操作電源盤/電源盤のフロントカバーを外し、電源スイッチをONにします。
- ②7セグ表示を確認します。
電気錠と操作電源盤の通信を確認するために(8,8)が表示されます。(2秒間)
 1. 電気錠のファームウェアバージョンが表示されます。(2秒間)
 2. 接続状態機器が1秒毎、機器番号毎に表示されます。※7セグの表示内容の一覧はP.13を確認ください。
 3. 一連の表示完了後、7セグの表示が消灯します。

14ペアリング作業

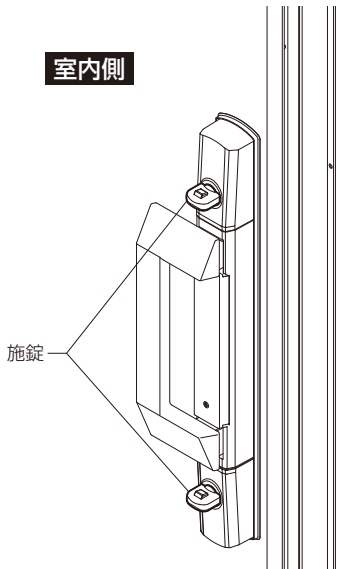
■ペアリング方法

※扉を閉めた状態で実施してください。

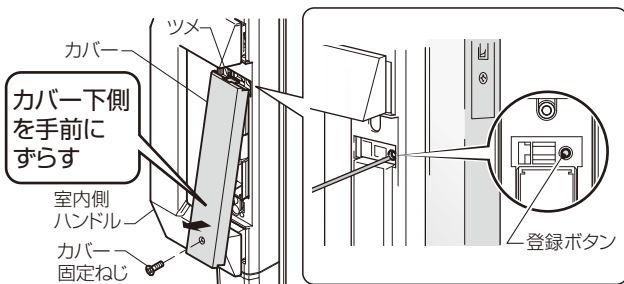
- ①操作電源盤のフロントカバーを外し、電源スイッチをONにします。



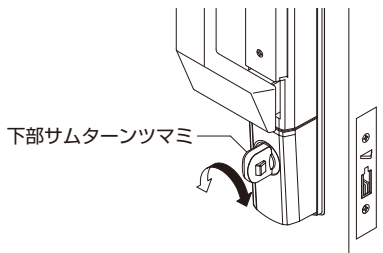
- ②ロックを両施錠の状態にします。



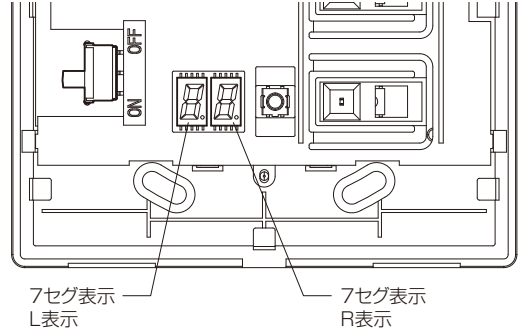
- ③室内側ハンドルのカバーを外します。
④登録ボタンを先のとがっていない細いもので長押し(2秒以上)します。



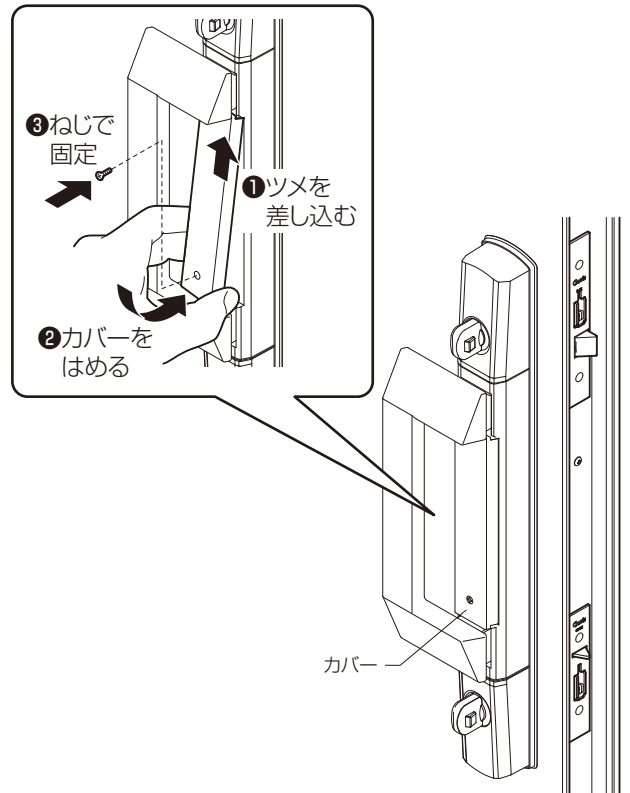
- ⑤下部サムターンを、(施錠⇒)解錠⇒施錠となるよう操作します。



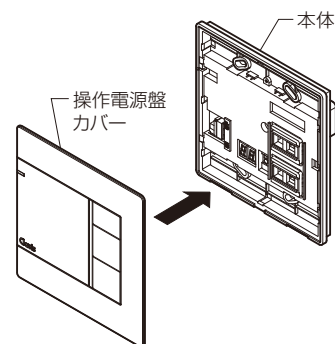
- ⑥操作電源盤上の7セグ表示に、接続状態が、1秒ごとに順次表示されます。
(L,R)が(5,1)→(7,3)→(8,1)となればペアリングが成立しています。



- ⑦室内側ハンドルのカバーを取付けます。



- ⑧操作電源盤のフロントカバーを取付けます。
以上でペアリング作業は完了です。



15 7セグ表示一覧

下表は7セグに表示される内容です。ペアリングでお困りの際はこちらをご確認ください。

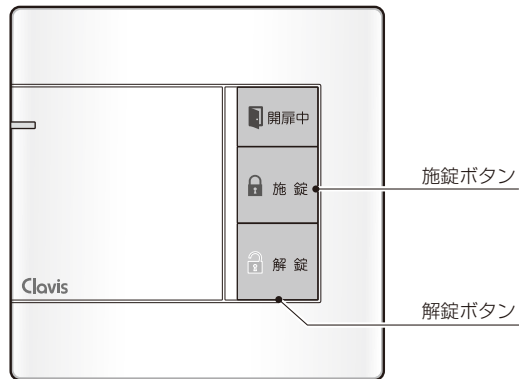
表示内容(L,R)	エラー内容	対処方法
(5,1)→(7,3)→(8,1)	無し。正しく接続、ペアリングができています。	なし
(5,1)→(7,3)→(8,2)	正しく接続できているが、室内ハンドルと室外ハンドルはペアリングできていない。	認証キーの登録情報を抹消を行った後に、ペアリング作業を行ってください。(認証キーの抹消方法は15ページを参照ください)
(5,1)→(7,3)→(8,3)	室内ハンドルと操作電源盤はペアリング出来ているが、室内ハンドルと室外ハンドルは接続できていない。	室外ハンドルのコネクタが正しく接続されているかを確認し、ペアリング作業を行ってください。
(5,2)→(7,3)→(8,1)	正しく接続できているが、室内ハンドルと操作電源盤がペアリングできていない。	ペアリング作業を行ってください。
(5,2)→(7,3)→(8,2)	正しく接続できているが、室内ハンドルと操作電源盤、室外ハンドルがペアリングできていない。	ペアリング作業を行ってください。
(5,2)→(7,3)→(8,3)	室内ハンドルと操作電源盤がペアリングできていない。室内ハンドルと室外ハンドルは接続できていない。	室外ハンドルのコネクタが正しく接続されているかを確認し、ペアリング作業を行ってください。
(8,8)のままかわらない	室内ハンドルと通信できていない。	室内ハンドル～操作電源盤のコネクタが正しく接続されているかを確認ください。

16 作動確認

下記二つの方法で確認ください。

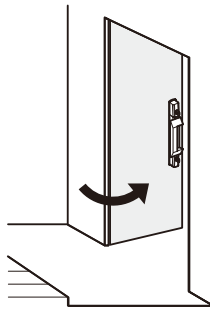
■ペアリング確認

操作電源盤の施錠・解錠ボタンを押し、扉が施解錠できるかを確認してください。

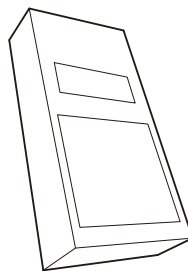


■認証部確認

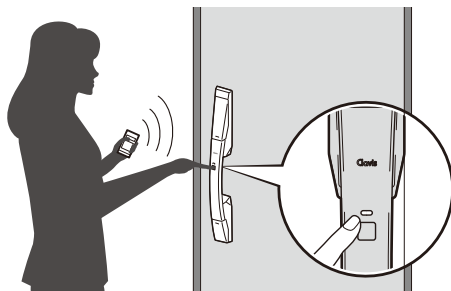
① ドアを開けます。



② 同梱されている未登録のTebraキーを準備してください。

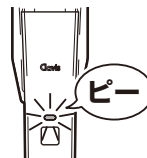


③ Tebraキーをハンドルから80cmのところを持ち、ドアのタッチボタンを押します。



状態

"ピーピー"とブザーが鳴り、LEDが赤色に三回点滅する。



何も起こらない

結果

▶ **正常です。**
操作盤の電源スイッチをOFFにしてください。

▶ **異常です。**
操作盤のペアリングを再度確認ください。

17 認証キーの抹消方法

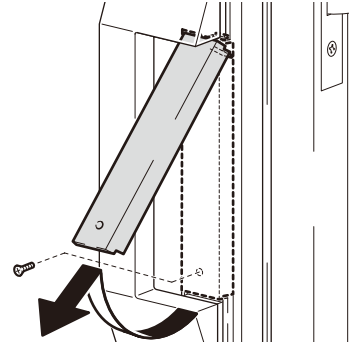
①以下の物をお手元にご用意ください。

認証キーの抹消後、速やかに再登録を行うため必要になります。

- 今までお使いの認証キー
- 新規で登録したい認証キー

②室内側からハンドルカバーを外します。

ねじを取外し、カバー下部を手前にずらします。
※ねじを紛失しないように保管してください。

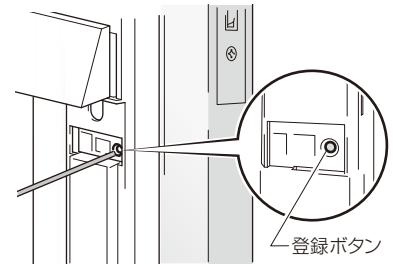


③ロックをサムターンで解錠し、ドアを開けます。

※ロックを解錠していない状態では、登録作業は行えません。

④制御部の登録ボタンを2秒以上押し続け、登録・抹消モードにします。

- ・先のとがっていない細いものでやさしく押しください。
- ・登録・抹消モード中はサムターンを回したり、ドアを閉めないでください。登録・抹消ができない可能性があります。
- ・登録・抹消モード中はリーダ部のランプが赤色点滅し続けます。

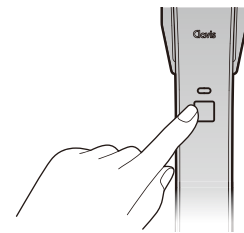


作動状況	リーダ部ランプ	ブザー
登録・抹消モード開始	緑色点灯 (0.3秒)	ピッ
登録・抹消モード中	赤色点滅	—

⑤リーダ部のタッチボタンを2秒以上、押し続けます。

“ピッ・ピピッ” とブザーが鳴るまでボタンを押し続けてください。
すべての情報が抹消されます。(ブザーが鳴る前にボタン操作を中断すると、情報が抹消されません)

作動状況	リーダ部ランプ	ブザー
認証全消去	緑色点灯 (1.5秒)	ピッ・ピピッ



⑥制御部の登録ボタンを押し、登録・抹消モードを終了します。

- ・“ピッ” とブザーが鳴り、登録・抹消モードが終了します。
- ・15 秒間抹消・登録の操作がない場合、自動的に登録・抹消モードが終了します。

※抹消された認証キーは、そのままでは使用できません。
すぐに再登録を行ってください。

作動状況	リーダ部ランプ	ブザー
登録・抹消モード終了	—	ピッ

■商品仕様

■リーダ本体仕様

送信時周波数	Tebraキー	125.0kHz
	TLキー	13.56MHz
登録可能IDキー数		最大16個※
顔認証	登録人数	最大16人
	同時認証人数	1人

※：ただし、Tebraキー／TLキーは、それぞれ最大8個までです。

■Tebraキーの仕様

使用電池	DC3V リチウムコイン電池 CR2032 1個
送信周波数	315MHz
動作電流	最大14mA
電池寿命	1年(10回/日)

■交信性能

ハンズフリー交信範囲	約80cm
非接触交信範囲	約1cm

■使用環境

使用温度範囲	-10℃～50℃
使用湿度範囲	30～90% RH(結露／氷結無きこと)

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO
